

社協

いばら

明けまして

おめでとうございます

井原地区社会福祉協議会

会長 沼崎 洋三



美しく調和のある世界をめざして
令和も2年目を迎えました。

平成から新しく令和に年号が施行されたのは
昨年の五月一日。わが国最古の歌集「万葉集」から
引用され、そして日本の古典から初めての」と。
今年は年初から迷いなく「令和」と記し、そして2
年目となりました。

「令和」の言葉に寄せる思いの一つに、「人々が
美しく心を寄せ合つ中で、文化が生まれ育つ意味
が込められている」ともいわれています。加えて、
「令和」に英語訳がある「とも」存じでどうか。
それは、「ユー・ティ・フル・ハーモニー（美しい調和）」
その心は「美しく心を寄せ合つ」と、そこには生ま
れる美しく調和のある世界」をと、読み解けば良
いのでしょうか。

さて、昨年の関東以北を襲った台風一九号によ
る大きな被害は、一昨年の西日本を襲った豪雨災
害に続くものでした。被害に遭われ、今も多くの
不便に耐えなければならぬ方々に心からお見
舞い申し上げます。世界のどこかで災害報道が絶
えない昨今です。気候変動によると思われるオー
ストラリアでの森林火災は今も続き、その焼失面
積は韓国全土に相当といわれています。この地球
規模で多発する自然災害にわが国だけが例外で
あるはずはありません。

少子高齢化 それは 「静かなる有事」

乗り越えよう 「生」への力で

厚生労働省は、平成30年度の私たちの平均寿

命は過去最高となり、女性は連續で世界2位、
男性は前年に続き3位と発表いたしました。更に
百歳以上が7万人を超える今、「健康で働けるう
ちは働く」との発想転換が求められている。理
屈は抜きとして、「生」に対する勇気を呼び起し
求められる令和元年でもありました。

しかし現実は厳しい。出生率は想定を超えて
年々低下と共に少子高齢化が進み、国の土台を根
底から搖るがす「静かなる有事」といわれる時世
に。広島県も出生数が少ない自然減に加え県外へ
の転出数の増加。果ては県人口二百八十万人割れ
を予測。経済や過疎地のインフラなどに影響あり
と知事の嘆きも伝え聞く中、人々の動きは変わ
らず一極集中が止まらない。「8050問題」「交通
空白地帯」「買い物食育」。既に「存じの言葉。最近
では「放置子」など嘆かわしい言葉が次々と誕生し
ています。

話し合いましょう
「住んで良かつた故郷 いばらへ

今一度、「令和」とは「美しい調和」。お互いに住
む環境は異なつてゐるかもしませんが、共に
「生まれてきて良かつた」と思える」ともその一
つと云えましょう。そこには「令和」を生きる私
たちに幸せと思える調和のある世界があるのだ
と思います。

私達は、更に「住んで良かつた いばら」「いばら」を
且つ話しあいを続けていきたいと思ひます。

行事活動の様子（昨年）

ひとり暮らし高齢者の集い(12月11日)



敬老祝賀会(9月16日)



今後の井原地区社協活動

- ・1月 福祉研修会
- ・2月 近隣ミニネットワークの集い
(3月まで)
- ・3月 いきいきサロンの情報
交換会
- ・4月 予算と今期活動計画の作成
- ・5月 評議員総会

あたたかい御厚志
ありがとうございます

9月 中市	中野	悟 様
9月 高瀬	向井	あつみ 様
10月 甲田	小川	秀規 様
	克之 様	

(令和元年9月～令和元年12月)

ご報告いたします。

左記の皆様から香典返しとして、多額の「寄付をいただきました。
皆様の地域福祉に対する理解と
ご協力に厚くお礼を申し上げ、「」に
ご報告いたします。



事務局だより
長年、地域福祉活動に貢献された方々
が表彰されました。

地域福祉功労者 表彰(敬称略)

令和元年 11月 26 日付け
◎安佐北区社会福祉協議会会長表彰

・片山 美千代(評議委員 10年10ヶ月)

令和元年 11月 29 日付け

◎広島市社会福祉協議会会長表彰

・山縣 利典(評議委員 10年6ヶ月)
・佐久間 和枝(評議委員 10年6ヶ月)

《編集後記》

昨年十月下旬、約1年半年ぶりに 待望の芸
備線が復活しました。それまで、バス乗車で途中
からの列車乗込みは、心労もあり鉄道のありが
たみをつくづく感じました。

井原も、一昨年の水害から復興してきました
が、地区により、また、それぞれの被害状況によ
り、元通りというわけにいかないと「ころも たく
さんあります。
引き続き、みんなで助け合い支え合って「住
んで、よかつた。」と思えるよう頑張っていきた
いのです。